

富山県教育委員会 殿

次
の4
内容をよく読んだ上で、
校等奨学給付金（家計急変）受給申請書
を付けてください。

☒ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、富山県の求めに従いその全額を即時返還します。

☒ 私は富山県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。

☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

※家計が急変した日の翌月1日（7月1日まで）がある場合は、必ず申告してください。また、申請書の状況等に変更がある場合は、必ず申告してください。

家計急変及び提出書類について、問い合わせをすることがありますので、日中に連絡できる電話番号を必ず記載してください。

申請者住所 (保護者等住所)	〒 930-0001 富山県中新川郡立山町〇〇	申請者氏名 (保護者等氏名)	とやま いちろう 富山 一郎
対象生徒との関係	TEL (076) 400-△△△△ 親権者 未成年後見人 ・ 未成年後見人である里親 ・ 主たる生計維持者 ・ 高校生等本人 ・ その他 ()		

※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「専攻科生」と読み替えるものとする（以下同様）。

【対象となる高校生等について】 該当に○をつけてください。

ふりがな	とやま はな		
氏名 (対象生徒氏名)	富山 花子	生年月日	昭和 22 年 7 月 10 日 平成
在学する学校	学校の名称	国立 公立 富山県立〇〇高等学校	
	学校の種類・課程・学科	①高等学校（全日制）	
	学校の所在地	富山県〇〇市〇〇 〇〇-〇	
在学期間	令和8年4月1日 ~ 始期：入学年度の4月1日		
過去の高等学校等における在学期間	学校名	在学期間	学校の種類・課程・学科
	立	年 月 日	在学中に給付金を受給した回数
	立	年 月 日	なし 1回 2回 3回 4回 不明
立	年 月 日	現在、在学しているほか、高等学校等に在学したことがある場合、記入してください。	金を受給した回数
立	年 月 日	立	なし 1回 2回 3回 4回 不明

【家計急変の理由について】 該当に☑をつけてください。

該当する理由に全ての□に✓をし、家計急変となった年月日や理由がわかるように具体的に記載してください。

□離職 □倒産 ☑収入の減少 □（その他）
家計急変となった日 年 月 日（明確な日がわからない場合は月まで記載）
収入の減少の場合は、給与の締日・支払日も記載（ 月末 日締 翌月・当月 15 日支払）
<例：1> 父〇〇の勤務先の〇〇が倒産し、〇月〇日失職したため。
<例：2> 母〇〇が〇〇〇（病名）を罹患したため〇月〇日から就労できなくなり、 大幅に収入が減少したため。
※具体的に、家計急変対象者及び理由や、事由発生日が分かるように記載してください。

【1】記入が必要となる（次の①②のいずれかに該当する場合は、必ず記入してください。）

① 申請者が富山県に在住し、高校生等が富山県立高等学校に在籍しています。

② 申請者が富山県に在住し、高校生等が富山県立高等学校以外の国公立高等学校等に在籍しています。

①	☒	⇒ 様式1-3 を記入してください。
②	☐	⇒ 様式1-2、様式1-3 を記入してください。

【4】保護者等（専攻科の場合は生計維持者）の家計急変の状況について（該当する□に✓を付けてください。）

(1) 4 内容をよく読んだ上で、
□を付けてください。

①	☐	の規定による生業扶助（高等学校等就学費）の受給について （高等学校等就学費）を受給していることがわかる証明書を提出しま
②	☒	の世帯は7月1日（前倒し給付の場合は4月1日）現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条 の規定による生業扶助（高等学校等就学費）は受給していません。

※【4】(1)①に該当する場合は、以下の記入は不要です。

(2) 次の者の所得に関する書類（個人番号カード（写）等貼付台紙又は課税証明書等）及び（記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】ホに該当する場合）扶養親族申告書、（記入上の注意【保護者等の収入等の状況について】ニに該当する場合）扶養誓約書を提出します。

①	☒	親権者（両親）2名分
②	☐	親権者1名分 (親権者が、一時的に親権を行使していない場合) ・離婚、死別等により親権者がいない場合 ・親権者が存在するものの、家庭内暴力等により親権を行使していない場合等 ・（専攻科のみ）満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの□に✓を付けてください。
③	☐	未成年後見人（ ）名分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分）※未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	☐	高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分 高校生等が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	☐	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑥	☐	高校生等本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」、「高校生等」を「生徒」と読み替えるものとする（以下、同様）。

(3) 確認書類を提出する者の氏名・生徒との続柄を記入してください。

ふりがな	とやま いちろう	生徒との続柄
氏名	富山 一郎	父

ふりがな	とやま よしこ	生徒との続柄
氏名	富山 良子	母